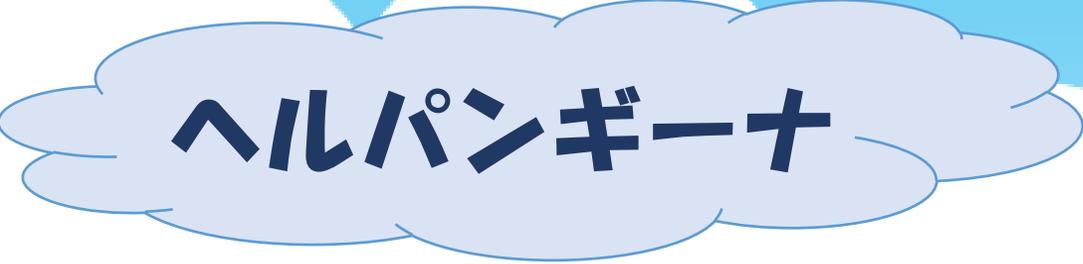




夏に流行ることもの病気





ヘルパンギーナ



主な原因はコクサッキーウイルスA群ですが、コクサッキーB群やエコーウイルス、エンテロウイルスも原因になります。感染力が強く、咳やくしゃみでうつります。そのため保育園や幼稚園では毎年流行することも多い病気です。また、原因になるウイルスがいくつかあるので、ひと夏に2回かかることもあります。



症状

突然の発熱とのどの痛みです。
38～39℃台の熱がみられますが2～3日で下がります。
つらいのはのどの痛みです。
のどの奥が腫れ、水疱が5～10個以上できることもあります。
水疱はつぶれやすく、しみるため食事を嫌がります。



のどの痛み



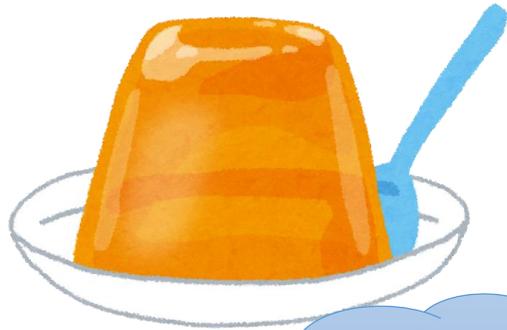
急な発熱



のどの奥に水ぼうがができる

治療とケア

1～4日程度で自然治癒する予後良好な疾患です。水分をこまめに与え自宅で静かに過ごしましょう。のどの痛みが強い場合、食事はのどごしがよいものや冷たいゼリーなどにすると良いです。オレンジジュースなどはしみるので控えましょう。水分が全く取れないときは点滴で水分補給する必要があるので必ず受診してください。



食事はのどごしがよいもの



水分補給

自宅安静





手足口病

幼児や学童に多い病気で、原因はコクサッキーウイルスA16、エンテロウイルス71型、エコーウイルスなどがあります。

ヘルパンギーナと同じく、原因となるウイルスが複数あるため、何度もかかってしまうこともあります。

症状

症状は名前の通り、手のひら、足の甲や裏、口の中などに赤い水疱ができるのが特徴です。原因となるウイルスによって、水疱の出方も異なり、ひじ・ひざ・おしりなどに出ることもあります。熱は37～38℃で、全く出ないこともあります。口の中の水疱は痛むため、食事を嫌がります。手足の水疱は痛むことはありませんが、まれに痛みやかゆみを伴うこともあります。



好発部位

- ☆手のひら
- ☆足の甲や裏
- ☆口の中
- ☆ひざ
- ☆おしり



治療とケア

1週間程度で自然治癒するので、自宅で安静に過ごしましょう。口の中の水疱が痛んで食事が取れないときも、水分はしっかり摂取させてください。エンテロウイルス71型では、まれに髄膜炎や脳炎を起こすこともあります。高熱・嘔吐・元気がない・ぐったりしているなどの症状が見られたら、病院を受診してください。

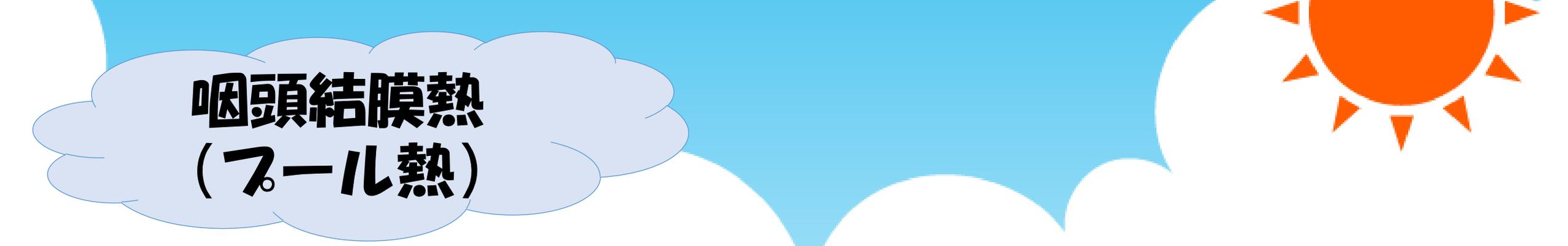


水分補給



自宅安静

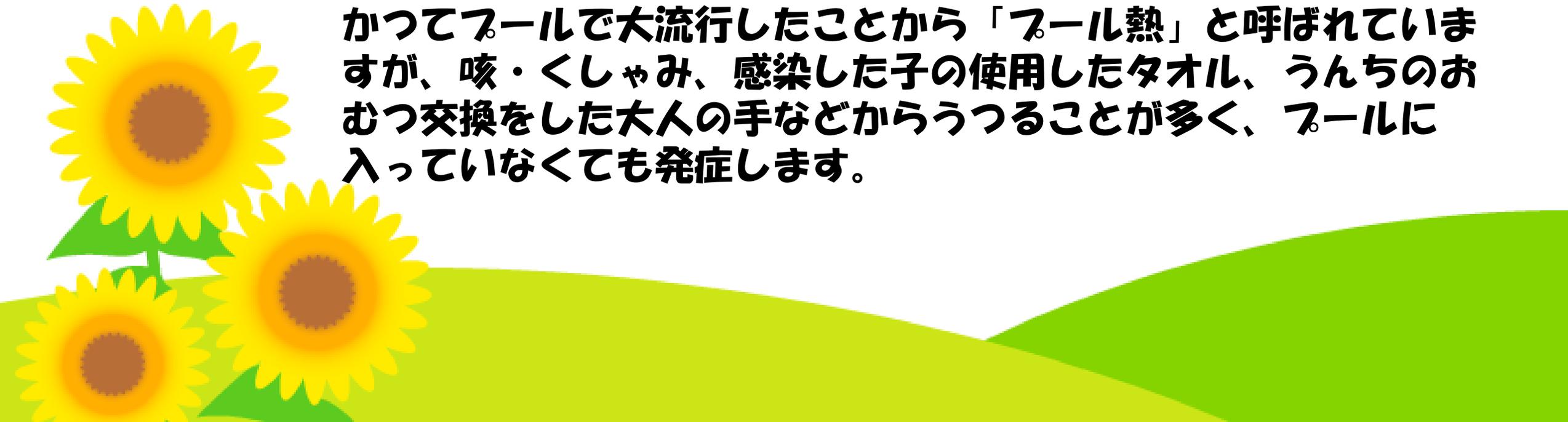




咽頭結膜熱 (フール熱)

原因はアデノウイルスによるもので、現在60種類以上の型に分類されています。ウイルスの型によって発熱、咽頭炎、胃腸炎、結膜炎など様々な症状を呈します。5歳以下の乳幼児に多い病気ですが、型によっては大人も感染します。

かつてフールで大流行したことから「フール熱」と呼ばれていますが、咳・くしゃみ、感染した子の使用したタオル、うんちのおむつ交換をした大人の手などからうつることが多く、フールに入っていないなくても発症します。



症状

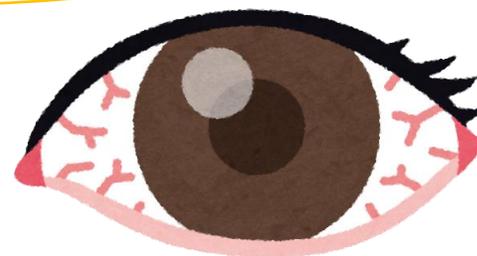
症状はのどが腫れて痛む咽頭炎、白目やまぶたの裏側が赤くなり目やにが出る結膜炎が特徴です。39～40℃の高熱が4～6日間ほど続きますが自然に下がり治ります。



のどの腫れ、痛み



急な高熱



白目の充血、目やに

治療とケア

ウイルスによる病気なので、治療は点眼薬や整腸剤など、症状が辛いときに和らげる対症療法になります。自宅で安静に過ごし、水分をしっかりと取り自然に治るのを待ちましょう。

感染力が強いウイルスなので、タオルは別々に使用し、お世話をした後はしっかり手洗いをしましょう。ウイルスは1ヶ月以上うんちや唾液から出るので、治った後も感染防止策はしばらく続けてください。



お世話の後は
手洗い

